

令和4年度事業報告

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

事業概況

東日本大震災から12年が経過しました。避難指示区域の解除もだいぶ進んできましたが未だに2万人を超える方が県外での生活をしております。一日も早く震災前の生活が戻ることを願っています。

国内で初めて新型コロナウイルス感染が確認されてから3年が経過しました。コロナ禍の長期化による輸送需要の大幅な減少や、燃料価格の高騰により、私どものバス業界は危機的な状況にあります。

県内の乗合バス事業は新型コロナウイルス感染による影響に加え、自家用車の普及や少子高齢化等の影響を受け、厳しい経営状況が続いています。運転者不足も依然として深刻であり、このような状態が続けば地域公共交通機関としての使命を果たすことができなくなり、運行回数の減便、路線の廃止といったことが現実味を帯びてきますが、行政の取り組み、事業者の創意工夫により、どうにか維持をしている現状です。

貸切バス事業についても新型コロナウイルス感染症対策としての人流抑制による利用者の大幅な減少により厳しい経営状況が続いてきました。昨年の新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の緩和により、全国的にはインバウンドが増加し、また、政府が実施した観光需要喚起策である全国旅行支援により一時的な需要増加はあったものの、県内においては未だ感染前の水準には戻っていません。

なお、新型コロナウイルス感染症対策に関しては、マスク着用の考え方の見直しが決定的なことを受け、日本バス協会では令和5年3月に乗合バス、貸切バスにおける新型コロナウイルスの予防対策のためのガイドラインを改訂したところです。

厳しい経営状況におかれているバス事業を維持するための事業者の自助努力にも限界があり、行政の支援が不可欠となります。そのため、福島県バス協会は令和4年度においても国、自治体、また、本県選出の国会議員に対しバス業界の窮状を訴え、バス事業への支援要請を行いました。支援を頂きました関係機関、関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

旅客自動車運送事業にとって最も重要なことは言うまでもなく輸送の安全確保にあります。当協会はこの一年間、輸送の安全確保を念頭に置き、関係行政機関のご指導並びに会員各社のご理解を頂きながらバス事業への信頼確保に努めてまいりましたので、その概要を報告いたします。

1. 乗合バス事業

(1) 多くの自治体において「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「地域公共交通計画」を計画しているが、福島県バス協会および会員事業者も、その協議の場である地域公共交通会議に委員として参加し、公共交通の果たすべき役割についての議論を行った。避難指示区域の解除の拡大に伴う帰還住民の足の確保のための公共交通網整備の観点からも同会議への参画は益々重要なものになっていくと思われる。

(2) エコ定期券について

エコ定期券（土・日・祝日適用）について、バス利用者へPRするためポスターを作製するとともに、バス車内及び施設等へ掲示しバスの利用拡大に努めた。

(3) 乗合バス事業の輸送実績について

2022年（令和4年1月～令和4年12月）輸送実績

	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実車1Km当り 運送収入 (円)	実働車1日1車当り		
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)
2021年	13,300,733	4,471,603	156.0	163.7	61.1	20,553
2022年	14,116,772	5,495,204	190.7	171.6	66.5	25,870
前年比 (%)	106.1	122.9	122.2	104.8	108.8	125.9

2. 貸切バス事業

(1) 貸切バス事業の輸送実績について

2022年（令和4年1月～令和4年12月）輸送実績

	実働率 (%)	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実働車1日1車当り			運行回数 1回当り 実車キロ(Km)
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)	
2021年	25.1	2,266,504	5,189,980	123.4	26.9	61,654	54.8
2022年	28.2	2,435,387	5,967,965	130.9	26.6	65,096	64.0
前年比 (%)	-	107.5	115.0	106.1	98.9	105.6	116.8

3. 関係機関への要望関係

(1) 令和5年度県予算編成に対する要望

R4.9.9 自由民主党福島県議会議員会
 福島県議会県民連合議員会
 公明党福島県議会議員団

(2) 新型コロナウイルス感染関連・燃料価格高騰への支援に対する要望

R4.4.28 福島県知事
 R4.5.13 自由民主党福島県議会議員会
 R4.8.24 自由民主党福島県議会議員会
 R4.8.29 いわき市長
 R4.10.16 公明党観光立国推進懇話会 in 福島

(3) 固定資産税軽減に対する要望

R4.10.6 国会議員(菅家一郎議員)

- R4. 10. 13 国会議員(上杉謙太郎議員)
- R4. 10. 14 国会議員(亀岡偉民議員)
- R4. 11. 10 バス危機突破総決起大会

4. 安全輸送及び環境対策

- (1) 全国交通安全運動及び年末年始輸送安全総点検の実施について、全会員へ周知し、その推進を図るとともに実施結果を関係機関に報告した。
- (2) 「テロ対策の徹底」についての周知を通じて、日本バス協会が策定した「バスジャック統一対応マニュアル」による対応徹底を図った。
- (3) 飲酒運転防止週間において、「飲酒運転防止対策マニュアル」の徹底について全会員へ周知し、飲酒運転防止に努めた。
- (4) 自動車点検整備推進運動(9月・10月)とエコドライブ強化月間(11月)の「バスの環境対策強化期間」に会員の積極的な参加を呼びかけ、本運動の推進に努めた。
- (5) 交通事故や車内事故を撲滅し、利用者の安全を確保するため、関係行政機関等と連携協力し、「事業用自動車総合安全プラン2025」に基づき各種安全対策を推進するとともに、事故削減等の取組みに努めた。
更に、乗合バスにおいてはバス停留所発進時における乗合バス発進時優先ルールを周知するためのラッピングバス製作費の助成を行った他、貸切バス等においてはシートベルト着用啓発カードの配布により、車内事故防止啓発を行った。
- (6) 新型コロナウイルス感染予防対策並びにバスの安全運行を維持するため、アルコール消毒液を配布し会員事業者とバスの利用者に手指消毒の徹底やバスの運行維持の確保に努めた。
- (7) 脱炭素社会の実現等を目的とした「ふくしま環境基本計画推進協議会(福島市事務局)」に令和3年度から参画し、協議会の主要な行事である「ふくしま環境フェスタ」開催への協力を行った。

5. ホームページでの情報提供

ホームページをリニューアルし閲覧者の利便向上を図るとともに、当協会の事業概要の他、会員の営業内容等を最新のものに更新し、情報提供を行った。

6. 運輸事業振興助成交付金事業

- (1) 共同施設整備事業として、郡山駅西口バスターミナル案内所の空調機器の修繕を行った。
施設整備に対する助成事業として、上屋の新設及び既存施設の停留所標識の補修の他、行先表示機の導入、乗合バス車内において利用者への案内を充実させるため音声合成放送装置の取付に対し助成した。
- (2) バス輸送サービス改善事業として、接客サービス研修会を実施した他、バス路線図、旅客サービス資材としてウェットティッシュ・不織布マスク等を作製・配布した他、公益社団法人日本バス協会のバス輸送改善推進事業「人と環境にやさしいバス普及事業」及び「地方路線バス及び貸切バス助成事業」に準じて、バス車両導入に対し助成した。
また、バスの乗務員不足が深刻化していることからマスコミを通じて窮状を訴えるとともに、関係機関の後援を得ながら福島市内において、協会主催により会員との合同による就職説明会を初めて開催した。

- (3) 安全運行対策事業として、運転者の適性診断・運行管理者等講習・適性診断活用講座・運輸安全マネジメント講習等の安全運行に係る各種講習等経費の他、睡眠時無呼吸症候群診断・脳ドック等の健康に起因する事故防止に関する経費、運転記録証明書並びにアルコール検知器・ドライブレコーダー(デジタルタコグラフを含む)等の安全運行機器の導入経費等に対して助成した他、救急法講習会の実施、のぼり旗や車内事故防止ポスター等の配布により事故防止啓発に努めた。

7. バスの日関係

- (1) 地元紙(福島民報・福島民友)にバスの日及び会員等のPRのために全1ページ分の広告を掲載しバスの利用促進に努めた。
- (2) 「バスに一言」のアンケートを公募し、抽選により70名の方に3,000円分のICカードまたはバス回数券を贈呈した。
また、アンケートの集計結果を全会員へ周知し、バス利用者へのサービス向上に努めた。

8. 運行管理者試験

- (1) 運行管理者試験対策勉強会により、合格率向上に努めた。
- (2) 試験実施結果

	地区別	申請者数	受験者数	合格者数	合格率	勉強会参加者 合格率	備考
第1回	福島県	79	72	21	29.2%	14.3%	
	東北	424	391	155	39.6%	-	
	全国	5,924	5,403	2,167	40.1%	-	
第2回	福島県	57	53	21	39.6%	50.0%	
	東北	308	284	79	27.8%	-	
	全国	5,095	4,675	1,651	35.3%	-	

9. 会員数(令和5年3月31日現在)

一般乗合・貸切旅客自動車運送事業者(みなし4条事業者を含む)	14事業者
一般貸切旅客自動車運送事業者	36事業者
計	50事業者
車両数	乗合 891両 貸切 944両 特定 27両 合計 1,862両

10. 表彰関係

- (1) 東北運輸局長表彰(令和4年11月1日)
従事者 2名(会津乗合自動車2名)
運転者 21名(福島交通14名、会津乗合自動車3名、新常磐交通1名、大和自動車交通3名)
- (2) 福島運輸支局長表彰(令和4年11月1日)
従事者 7名(福島交通1名、会津乗合自動車2名、福島観光自動車2名、新常磐交通2名)
運転者 20名(福島交通11名、会津乗合自動車4名、新常磐交通5名)
- (3) 公益社団法人日本バス協会会長表彰(令和4年12月1日)
優良バス運転者表彰
運転者 10名(福島交通7名、会津乗合自動車3名)